

# 実践的な問題解決・意思決定能力を高めていく「ケース・メソッド」は次世代の育成や能力開発に必須です。

## MPPの必要性

グローバル化する社会情勢の中で、人材活用では「ダイバーシティ」や「インクルージョン」への対応が重要です。また、変革の時代において、課題解決への対応にはスピードが求められます。このような状況下で、企業の採用は、問題解決型から問題思考型の人材へとシフトしています。この問題思考の能力を身につけるための教育訓練、カリキュラムはないといって過言ではありません。

実践力、問題思考の能力開発には、ケース・スタディではなく、ケース・メソッド方式のMPPです。

厳しいビジネス社会の中で活かせるMPPは、経営者だけでなく、管理職から一般社員まで幅広く活用いただけるプログラムです。

## MPPの参加メリット

- 役職・年齢に関係なく同等に発言・討議できます
- 参加者の多様性に触れ、自己研鑽に繋がります
- 異なる参加者の専門分野の知識・叡智を得られます
- 討議の中から新たな発見が生まれます
- 知的ネットワークの構築につながります
- 問題解決のスピードアップが図れます
- 参加者の相互研鑽により、能力アップが図れます
- 限られた時間で、成果を求める訓練ができます
- チームマネジメントを体験できます

## 一般社団法人 日本経営士会とは

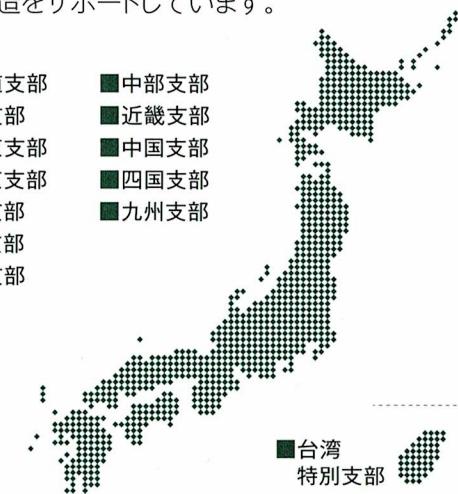
旧経済安定本部の勧奨により1951年に発足し、1955年に通商産業大臣の許可を得て、社団法人としてスタートした日本で最も伝統のある経営コンサルタント団体です。全国12地域および台湾に支部を設置し、人材の育成を通じて企業の経営革新、企业文化の創造をサポートしています。

- 北海道支部
- 東北支部
- 北関東支部
- 南関東支部
- 千葉支部
- 埼玉支部
- 東京支部
- 中部支部
- 近畿支部
- 中国支部
- 四国支部
- 九州支部

経営に知恵と革新

 一般社団法人日本経営士会

〒102-0084  
東京都千代田区二番町12-12 B.D.A二番町ビル5F  
TEL.03-3239-0691 FAX.03-3239-1831  
✉info@nihonkeieishikai.com



■台湾  
特別支部

チームによる  
経営管理能力開発プログラム

# MPPのご案内

Management Professional Program

MPPは(一社)日本経営士会の登録商標です。



 一般社団法人日本経営士会

## MPPとは

経営士の経験則の補完と更なる能力向上、参加者の相互研鑽を目的として、日本経営士会が独自に開発した、ケース・メソッド方式による研究プログラムです。マネジメント能力の向上のみならず、様々な能力向上に役立ちます。

## ケース・メソッドとは

事例を基にチーム討議を行い、参加者の知識・技能の伝達や結果の良否を超越して、自分とは異なるものの考え方や経験、職務や役割の上から出てくる施策・戦略などを知ることによって、そこからマネジメントに関する新しい発見や将来への洞察力、判断力の訓練および創造性を育みます。小集団による共同研究方式が「ケース・メソッド」です。

「ケース・スタディ」が実例を分析して原理・原則（唯一の答え）を引き出すのとは違い、「ケース・メソッド」は同じケースでも参加者・時間・場所が変われば、成果（設問に対する答え）は違ってきます。答えが一つではないところが大きなポイントで、ケース・メソッドは思考の訓練なのです。



## MPP実施のステップ

**時間：3時間コース（基本）／1チーム：5～7名（リーダー含む）**  
マネジメントに必要な能力を、3時間の凝縮した時間の中で討議を通じて研修します。

### 自己紹介（参加者の相互理解）



### ケースの輪読（共通認識）



### 黙読（自分の考えをまとめる）



### 討議（発言と傾聴、発見と気づき）



※ホワイトボードに記録する。

### チームとしての成案を出す（まとめ）



### レポートをまとめる（書く）



### 発表する（プレゼン）

## 【MPPリーダー】

MPPチーム討議の推進役です。参加者全員の発言を引き出し、発言のポイントを要領よくまとめ、チームとしての成案を導きます。また、ファシリテーター的役割も担い、参加者の相互作用（思考・感情・行動・関係など）を醸成させます。指定の研修を修了したMPP登録リーダーが務めます。

## 【レコーダー】

チームメンバーから選出。討議の発言をボード等に記録することが役割です。発言の本質をつかみ的確でシンプルに表現し、発表することを想定して記録していきます。書く・まとめるだけでなく、自分の意見もしっかり発言することが求められます。



## 【ポイント制】

MPP参加者には、役割により、1～2単位のポイントが付与されます。20単位以上でMPPリーダー養成研修の受講資格が得られます。

## 【MPPケース】

事例を基に作成されたケースが200以上用意されています。総合経営・生産・販売・人事・財務・事務・情報と生産性・戦略・企業再建・教育・その他の組合せで40種類に分類され管理されています。